



準備ガイド

2025 年 12 月版

Copyright © EXIN Holding B.V. 2025. All rights reserved.

EXIN® is a registered trademark.

SIAM™ is a registered trademark.

EXIN SIAM™ Professional is based on the Scopism SIAM Body of Knowledge.

No part of this publication may be reproduced, stored, utilized or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, or otherwise, without the prior written permission from EXIN.



目次

| | |
|------------|----|
| 1. 概要 | 4 |
| 2. 試験要件 | 7 |
| 3. 基本概念の一覧 | 10 |
| 4. 文献 | 15 |
| 5. キャリアパス | 18 |

1. 概要

EXIN SIAM™ Professional (SIAMP. JP)

範囲

EXIN SIAM™プロフェッショナル認定試験では、以下の領域について、状況に応じた SIAM™の応用知識と、SIAM のコンセプトを詳しく分析する能力をテストします。

- ディスカバリ&戦略ステージ
- 計画&構築ステージ
- 実装ステージ
- 運営&改善ステージ
- ステージ全体を通じた SIAM プラクティス

要約

サービスインテグレーション&マネジメント (SIAM) は、複数サービスプロバイダをマネジメントし、シームレスに統合することによって、ビジネスに向き合う単一のIT組織を生み出すための方法論です。

EXIN SIAM™ Professional資格では、SIAMロードマップの4つのステージの活動について受験者のナレッジとスキルが試されます。EXIN SIAM™ Professionalに合格する受験者は、複数サービスプロバイダ環境の分析、計画、構築および調査ができます。

背景

EXIN SIAM™ Professional 資格は、EXIN SIAM™資格プログラムの一部です。



対象グループ

この認定は、SIAM のプラクティスに興味のある方や、この方法論を組織で適用または改善したい方など、世界中のプロフェッショナルを対象にしています。本認定の内容は、SIAM モデルを委託する顧客組織や、顧客組織においてリテインド能力(ケイパビリティ)を提供するスタッフ、SIAM エコシステムで働くサービスインテグレータとサービスプロバイダに適しています。

本資格の対象グループとなり得るのは、以下の通りです。

- サービスマネージャとプラクティショナ
- サービスプロバイダのポートフォリオマネージャ
- プロセスマネージャ
- プロジェクトマネージャ
- 変更マネージャ
- サービスレベルマネージャ
- 事業関係マネージャ
- プログラムマネージャ
- サプライヤマネージャ
- サービスアーキテクト
- プロセスアーキテクト
- 事業チェンジプラクティショナ
- 組織チェンジプラクティショナ
- SIAM コンサルタント

認定のための要件

- EXIN SIAM™ Professional 試験の合格。
- 実践課題を含む認定 SIAM™ Professional トレーニングの修了。

試験の詳細内容

| | |
|------------|--|
| 試験の形式: | 多肢選択形式 |
| 問題数: | 40 |
| 合格点: | 65% (26/40 問題) |
| 参考書の持ち込み: | 不可。試験はケーススタディに基づいて行われる。このケーススタディは試験の付録として提供されます。 |
| ノートをとる: | 不可 |
| 電子機器の持ち込み: | 不可 |
| 試験時間: | 90 分 |

EXIN の試験規則はこの試験に適用されます。

ブルームレベル

EXIN SIAM™ Professional 試験では、ブルームの改訂版タキソノミーに基づき、ブルームレベル 3 およびレベル 4 で受験者をテストします。

- ブルームレベル 3 : 応用 - 認定候補者は、学習した内容を異なるコンテキストで活用できる能力があることを示します。このタイプの質問の目的は、認定候補者が取得した知識、事実、手法、およびルールを異なるまたは新しい方法で応用でき、新しい状況で問題を解決できること示すことです。この質問には、通常、ショートシナリオが含まれます。
- ブルームレベル 4 : 分析 - 認定候補者は、学習内容を細分化して理解する能力があることを示します。このブルームレベルは、主に実践課題でテストされます。このような実践課題の目的は、認定候補者が誘因や原因を特定することによって情報を分析および細分化して推論し、一般論化を支援する証拠を突き止める能力を示すことです。

トレーニング

授業時間

この教育コースの推奨受講時間は 21 時間です。この中に実践課題、試験準備、休憩なども含まれます。時間の中に含まれないのは、宿題、ランチ時間、試験時間です。

学習時間の目安

112 時間、個人が習得している知識によります。

教育事業者

認定教育事業者のリストを <http://www.exin.com> で参照できます。

2. 試験要件

試験要件は、試験仕様に明記されています。以下の表にモジュールトピック（試験要件）とサブトピック（試験仕様）の一覧を示します。

| 試験要件 | 試験仕様 | 配分 % |
|----------------------------------|------------------------------|--------------|
| 1. ディスカバリ&戦略 | | 32.5% |
| | 1.1 SIAM ガバナンスフレームワークの要素 | 7.5% |
| | 1.2 現状の分析 | 10% |
| | 1.3 SIAM 戦略の重要な要素 | 15% |
| 2. 計画&構築 | | 30% |
| | 2.1 詳細な SIAM モデルの設計 | 20% |
| | 2.2 SIAM の実装を計画する | 10% |
| 3. 実装 | | 15% |
| | 3.1 SIAM の実装をサポートするさまざまなシナリオ | 10% |
| | 3.2 組織的なチェンジマネジメント (OCM) の継続 | 5% |
| 4. 運営&改善 | | 12.5% |
| | 4.1 SIAM エコシステムの運用、保証、改善 | 12.5% |
| 5. ステージ全体を通じた SIAM プラクティス | | 10% |
| | 5.1 SIAM プラクティスの応用 | 10% |
| | | |

試験仕様

1 ディスカバリ&戦略

1.1 SIAM ガバナンスフレームワークの要素

次のことが行える

- 1.1.1 SIAM エコシステムにおけるガバナンスの特徴を解釈する。
- 1.1.2 SIAM ガバナンスの各役割を区分する。
- 1.1.3 サービスパフォーマンスのモニタリングおよび測定するためのガバナンスアプローチを選択する。

1.2 現状の分析

次のことが行える

- 1.2.1 既存のサービス、サービスグループ、サービスプロバイダ、マーケットプレイスを分析する。
- 1.2.2 現在のケイパビリティ(能力)をアセスメントする方法を説明する。
- 1.2.3 ソーシングアプローチと SIAM モデルとを決定するための影響を分類する。

1.3 SIAM 戦略の重要な要素

次のことが行える

- 1.3.1 SIAM の戦略的推進力を解釈する。
- 1.3.2 SIAM の重要成功要因を区別する。
- 1.3.3 役割と責任のための原則と方針を解釈する。
- 1.3.4 適切な SIAM 戦略を選定する。
- 1.3.5 SIAM 戦略への賛同を獲得し、維持する方法を解説する。
- 1.3.6 ビジネスケースの内容と SIAM 移行プロジェクトを記述する。

2 計画&構築

2.1 詳細な SIAM モデルの設計

次のことが行える

- 2.1.1 組織特有のサービスモデルとプロセスモデルを分析する。
- 2.1.2 適切なソーシングアプローチと SIAM 構造を選定する。
- 2.1.3 詳細な役割と責任を記述する。
- 2.1.4 パフォーマンス測定および報告フレームワークを選定する。
- 2.1.5 コラボレーションモデルを選定する。
- 2.1.6 SIAM の契約上の検討事項を分析する。

2.2 SIAM の実装を計画する

次のことが行える

- 2.2.1 組織的なチェンジの課題を記述する。
- 2.2.2 各サービスと各サービスプロバイダのオンボーディングアプローチを区別する。
- 2.2.3 SIAM エコシステムのための最も適切なツール戦略とインテグレーション方法を分析する。

3 実装

3.1 SIAM の実装をサポートするさまざまなシナリオ

次のことが行える

- 3.1.1 ビッグバンアプローチと段階的アプローチのベネフィットとリスクに基づいてこれらのアプローチを選択する。
- 3.1.2 承認された SIAM モデルに移行する方法を説明する。

3.2 組織的なチェンジマネジメント(OCM)の継続

次のことが行える

- 3.2.1 モラルとモチベーションに影響を与える方法を選択する。

4 運営&改善

4.1 SIAM エコシステムの運用、保証、改善

次のことが行える

- 4.1.1 異なるレベルの構造要素を分析する。
- 4.1.2 イシューに対処するための適切なメカニズムを選定し、プロバイダとインテグレータのパフォーマンスを向上する。
- 4.1.3 監査とコンプライアンスのメカニズムを適用する。

5 ステージ全体を通じた SIAM プラクティス

5.1 SIAM プラクティスの応用

次のことが行える

- 5.1.1 ディスカバリ&戦略ステージのための全ての SIAM プラクティスを適用する。
- 5.1.2 計画&構築ステージのための全ての SIAM プラクティスを適用する。
- 5.1.3 実装ステージのための全ての SIAM プラクティスを適用する。
- 5.1.4 運営&改善ステージのための全ての SIAM プラクティスを適用する。

3. 基本概念の一覧

この章では、認定候補者が習熟しておく必要がある用語と略語を示します。

これらの用語の知識だけでは試験に十分ではないことに注意してください。受験者は、その概念を理解し、例を提示できる必要があります。

| 英語 | 日本語 |
|--|--|
| aggregation | アグリゲーション |
| Agile | アジャイル |
| agile retrospective | アジャイルレトロスペクティブ |
| agile SIAM | アジャイル SIAM |
| Association for Project Management (APM) | プロジェクトマネジメント協会 (APM: Association for Project Management) |
| balanced scorecard | バランススコアカード |
| benchmark | ベンチマーク |
| benefits realization management | ベネフィットリアライゼーション管理 |
| benefits realization plan | ベネフィットリアライゼーション計画 |
| Best of Breed | 最善の組合せ (Best of Breed) |
| blue/red/amber/green reporting (BRAG) | Blue/Red/Amber/Green レポート (BRAG) |
| board | 委員会 |
| boolean | ブーリアン |
| business case | ビジネスケース |
| business process improvement (BPI) | ビジネスプロセス改善 (BPI) |
| business-as-usual (BAU) | 通常業務 (BAU) |
| capability | ケイパビリティ (能力) |
| capability assessment | ケイパビリティ (能力) アセスメント |
| capital expenditure (CAPEX) | キャピタル支出 (CAPEX) |
| cloud services | クラウドサービス |
| COBIT | COBIT |
| code of conduct | 行動規範 (code of conduct) |
| collaboration agreement | コラボレーションアグリーメント |
| commodity service | コモディティサービス |
| common data dictionary | コモンデータ辞書 |
| common law | コモンロー (common Law) |
| conflict of interest (CoI) plan | 利益相反 (CoI: conflict of interest) 計画 |
| contract | 契約 |
| contract management | 契約管理 |
| cross-functional team | クロスファンクショナルチーム |
| current mode of operation (CMO) | 現在のオペレーションモード (CMO: current mode of operation) |
| customer (organization) | 顧客 (組織) |
| Cynefin | クネヴィン (Cynefin) |
| dashboard | ダッシュボード |
| data room | データルーム |
| disaggregation | ディスアグリゲーション |
| early life support (ELS) | 初期サポート (ELS) |
| ecosystem | エコシステム |

| | |
|---------------------------------------|---|
| enterprise architecture | エンタープライズアーキテクチャ |
| enterprise process framework (EPF) | エンタープライズプロセスフレームワーク (EPF) |
| enterprise service bus | エンタープライズサービスバス |
| entity relationship diagram (ERD) | 実体関連図 (ERD) |
| escalation | エスカレーション |
| estoppel | エストッペル(禁反言、estoppel) |
| ethical wall | 倫理的な壁(ethical wall) |
| exit services schedule | エグジットサービススケジュール |
| external service provider | 外部サービスプロバイダ |
| externally sourced service integrator | 外部調達サービスインテグレータ |
| framework | フレームワーク |
| function | 機能 |
| future mode of operation (FMO) | 将来のオペレーションモード (FMO) |
| gaming the system | 制度の抜け穴(gaming the system) |
| governance | ガバナンス |
| governance Board | ガバナンス委員会 |
| governance framework | ガバナンスフレームワーク |
| governance library | ガバナンスライブラリ |
| governance model | ガバナンスモデル |
| greenfield (site or operation) | グリーンフィールド (サイト または オペレーション) |
| hangout | ハングアウト |
| heat map | ヒートマップ |
| hybrid service integrator | ハイブリッドサービスインテグレータ |
| incumbent | インカンベント(現職、incumbent) |
| Infrastructure-as-a-Service (IaaS) | IaaS(Infrastructure-as-a-Service) |
| insourcing | インソーシング |
| intelligent client function | インテリジェントなクライアント機能 |
| interdependency | 相互依存性 |
| interim operating model | 中間オペレーティングモデル(interim operating model) |
| interim service plan | 中間サービス計画(interim service plan) |
| internal service provider | 内部サービスプロバイダ |
| internally sourced service integrator | 内部調達サービスインテグレータ |
| ISO/IEC 20000 | ISO/IEC 20000 |
| ITIL | ITIL |
| Kaizen | カイゼン |
| Kanban | カンバン |
| kanban board | カンバンボード |
| keeping the lights on | キーピング・ザ・ライツ・オン(ライトをつけておく、keeping the lights on) |
| Kepner-Tregoe problem analysis | ケプナートリゴー問題分析 |
| key performance indicator (KPI) | 重要業績評価指標 (KPI) |
| layers (SIAM layers) | レイヤ(SIAM レイヤ) |
| lead supplier service integrator | リードサプライヤサービスインテグレータ |
| leading and lagging indicators | 先行指標と遅行指標 |
| Lean (systems) thinking | リーン(システム)思考 |
| liquidated damages | 予定損害賠償金 |
| management methodology | マネジメント方法論 |
| man-marking | マンマーキング(man-marking) |

| | |
|--|--|
| MECE (mutually exclusive, collectively exhaustive) | MECE (mutually [お互いに]、exclusive [重複せず]、collectively [全体に]、exhaustive [漏れない]) |
| model (SIAM model) | モデル (SIAM モデル) |
| MoSCoW | MoSCoW |
| multi-sourcing | マルチソーシング |
| multi-sourcing integration (MSI) | マルチソーシングインテグレーション (MSI) |
| OBASHI | OBASHI |
| offboarding | オフボーディング |
| on the fly | オンザフライ (on the fly: 急いで) |
| onboarding | オンボーディング |
| operational expenditure (OPEX) | オペレーショナル支出 (OPEX) |
| operational level agreement (OLA) | オペレーショナルレベルアグリーメント (OLA) |
| Operations manual | オペレーションマニュアル |
| organizational change management (OCM) | 組織的なチェンジマネジメント (OCM) |
| OSI (open systems interconnect) | OSI (開放型システム間相互接続、open systems interconnect) |
| outcome | 成果 |
| output | アウトプット |
| outsourcing | アウトソーシング |
| performance management and reporting framework | パフォーマンス管理及び報告フレームワーク |
| Platform-as-a-Service (PaaS) | PaaS (Platform-as-a-Service) |
| practice | プラクティス |
| prime vendor | プライムベンダ |
| process | プロセス |
| process forum | プロセスフォーラム |
| process manager | プロセスマネージャ |
| process model | プロセスモデル |
| process modelling | プロセスモデリング |
| process owner | プロセスオーナー |
| program management | プログラム管理 |
| project management | プロジェクト管理 |
| quality gates | 品質ゲート |
| RACI (Responsible, Accountable, Consulted, Informed) | RACI (実行責任、説明責任、相談先、報告先) |
| red/amber/green reporting (RAG) | red/amber/green レポート (RAG) |
| request for information (RFI) | 情報提供依頼書 (RFI) |
| request for proposal (RfP) | 提案依頼書 (RFP) |
| responsibility | 責任 |
| results chain | リザルトチェーン |
| retained capability / capabilities | リテインド能力 (ケイパビリティ) |
| risk management | リスク管理 |
| roadmap | ロードマップ |
| role | 役割 |
| run book | ランブック |
| Scrum | スクラム |
| scrum master | スクラムマスタ |
| separation of duties / separation of concerns | 職務の分離 / 関心の分離 |

| | |
|---|------------------------------|
| service | サービス |
| service aggregation | サービスアグリゲーション |
| service assets | サービス資産 |
| service boundaries | サービス境界 |
| service consumer | サービス消費者 |
| service credits | サービスクレジット |
| service dashboard | サービスダッシュボード |
| service definition | サービス定義 |
| service element | サービス要素 |
| service grouping | サービスグルーピング |
| service improvement plan (SIP) | サービス改善計画 (SIP) |
| service integration (SI) | サービスインテグレーション (SI) |
| Service Integration and Management (SIAM) | サービスインテグレーション&マネジメント (SIAM) |
| service integrator | サービスインテグレータ |
| service integrator layer | サービスインテグレータレイヤ |
| service line | サービスライン |
| service management | サービスマネジメント |
| service management and integration (SMAI) | サービスマネジメント&インテグレーション (SMAI) |
| service management integration (SMI) | サービスマネジメントインテグレーション (SMI) |
| service manager | サービスマネージャ |
| service model | サービスモデル |
| service orchestration | サービスオーケストレーション |
| service outcomes | サービス成果 |
| service owner | サービスオーナー |
| service provider | サービスプロバイダ |
| service provider category | サービスプロバイダカテゴリ |
| SFIA (Skills Framework for the Information Age) | SFIA (情報化時代のスキルフレームワーク) |
| shadow IT | シャドウ IT |
| SIAM ecosystem | SIAM エコシステム |
| SIAM environment | SIAM 環境 |
| SIAM governance lead role | SIAM ガバナンスリードロール |
| SIAM library | SIAM ライブラリ |
| SIAM model | SIAM モデル |
| SIAM operational lead role | SIAM オペレーショナルリードロール |
| SIAM scorecard | SIAM スコアカード |
| SIAM structures | SIAM 構造 |
| skills map | スキルマップ |
| social network | ソーシャルネットワーク |
| Software-as-a-Service (SaaS) | SaaS (Software-as-a-Service) |
| sourcing | ソーシング |
| stakeholder | ステークホルダー |
| stakeholder map | ステークホルダーマップ |
| statement of requirements (SoR) | 要求仕様書 (SoR) |
| statement of works (SoW) | 作業範囲記述書 (SoW) |
| strategy | 戦略 |
| structural element | 構造要素 |
| subject matter expert (SME) | サブジェクトマターエキスパート (SME) |

| | |
|--|-----------------------------------|
| supplier | サプライヤ |
| swim lanes | スイムレーン |
| theory of constraints (ToC) | 制約理論 (ToC: theory of constraints) |
| tooling strategy | ツール戦略 |
| tower | タワー |
| town hall meeting | タウンホールミーティング |
| training needs analysis (TNA) | トレーニングニーズ分析 (TNA) |
| transformation | トランスフォーメーション |
| transition | 移行 |
| trust-based approach | 信頼ベースのアプローチ |
| visual management | ビジュアルマネジメント |
| war room approach | 作戦司令室アプローチ |
| waterfall | ウォーターフォール |
| watermelon effect (watermelon reporting) | ウォーターメロン現象 (ウォーターメロンレポート) |
| win-win | ウィン-ウィン |
| working group | ワーキンググループ |

4. 文献

試験の参考文献

試験に必要な知識は、次の文献に記載されています。

- A. Simon Dorst, Michelle Major-Goldsmith and others
Service Integration and Management (SIAM™) Professional Body of Knowledge
<https://www.scopism.com/free-downloads/>から無料で入手可能です。
または
Simon Dorst, Michelle Major-Goldsmith, Claire Agutter et al.
Service Integration and Management (SIAM™) Professional Body of Knowledge
IT Governance Publishing Ltd. (第2版, 2021年7月)
ISBN-13: 978 1787783133 (ハードコピー)
ISBN-13: 978 1787783157 (電子出版物)
ISBN-13: 978 1787783140 (電子ブック)
- B. EXIN
EXIN SIAM™ Professional - ケーススタディ
EXIN (2020)
http://bit.ly/SIAMP_case_studyから無料で入手可能です。

追加文献

- C. Scopism Limited
サービスインテグレーション&マネジメント(SIAM™) ファンデーション Body of Knowledge
Scopism Limited (第2版)
<https://www.scopism.com/free-downloads/>からも無料でダウンロードできます。ダウンロードファイルは2点の文書で構成されています。
- D. EXIN
EXIN SIAM™ Professional - Case Study Analysis
EXIN (2020)
http://bit.ly/SIAMP_case_study_analysisから無料で入手可能です。

コメント

追加の参考文献は、参考として知識を深めるためのものです。

試験を受ける前に、ケーススタディを必ずよくお読みください。試験問題はすべて、ケーススタディから得られる知見や状況を利用して作成されています。

「SIAM™ Professional Body of Knowledge」や「SIAM™ Foundation Body of Knowledge」の商業利用は不可であることにご注意ください。ただし、認定教育事業者(ATO)はそれらのファイルを使用してコース教材や関連マーケティングを開発することを認可されています。ATOはScopismの認可を得ることなくそれらのファイルから他の商業製品やサービスを作成することは認められていません。

参考文献の表

| 試験要件 | 試験仕様 | 参考文献 |
|-------------------------|--|-----------------|
| 1. ディスカバリ&戦略 | | |
| 1.1 | SIAM ガバナンスフレームワークの要素 | |
| 1.1.1 | SIAM エコシステムにおけるガバナンスの特徴を解釈する。 | A: 2.3 章 |
| 1.1.2 | SIAM ガバナンスの各役割を区分する。 | A: 2.2 章, 2.3 章 |
| 1.1.3 | サービスパフォーマンスのモニタリングおよび測定するためのガバナンスアプローチを選択する。 | A: 2.3 章 |
| 1.2 | 現状の分析 | |
| 1.2.1 | 既存のサービス、サービスグループ、サービスプロバイダ、マーケットプレイスを分析する。 | A: 2.5 章 |
| 1.2.2 | 現在のケイパビリティ(能力)をアセスメントする方法を説明する。 | A: 2.5 章 |
| 1.2.3 | ソーシングアプローチと SIAM モデルとを決定するための影響を分類する。 | A: 2.5 章 |
| 1.3 | SIAM 戦略の重要な要素 | |
| 1.3.1 | SIAM の戦略的推進力を解釈する。 | A: 2.6 章 |
| 1.3.2 | SIAM の重要成功要因を区別する。 | A: 2.7 章 |
| 1.3.3 | 役割と責任のための原則と方針を解釈する。 | A: 2.4 章 |
| 1.3.4 | 適切な SIAM 戦略を選定する。 | A: 2.5 章, 2.6 章 |
| 1.3.5 | SIAM 戦略への賛同を獲得し、維持する方法を解説する。 | A: 2.6 章 |
| 1.3.6 | ビジネスケースの内容と SIAM 移行プロジェクトを記述する。 | A: 2.2 章, 2.7 章 |
| 2. 計画&構築 | | |
| 2.1 | 詳細な SIAM モデルの設計 | |
| 2.1.1 | 組織特有のサービスモデルとプロセスモデルを分析する。 | A: 3.1 章 |
| 2.1.2 | 適切なソーシングアプローチと SIAM 構造を選定する。 | A: 1.6 章, 3.1 章 |
| 2.1.3 | 詳細な役割と責任を記述する。 | A: 3.1 章 |
| 2.1.4 | パフォーマンス測定および報告フレームワークを選定する。 | A: 3.1 章 |
| 2.1.5 | コラボレーションモデルを選定する。 | A: 3.1 章 |
| 2.1.6 | SIAM の契約上の検討事項を分析する。 | A: 3.1 章 |
| 2.2 | SIAM の実装を計画する | |
| 2.2.1 | 組織的なチェンジの課題を記述する。 | A: 3.2 章 |
| 2.2.2 | 各サービスと各サービスプロバイダのオンボーディングアプローチを区別する。 | A: 3.3 章 |
| 2.2.3 | SIAM エコシステムのための最も適切なツール戦略とインテグレーション方法を分析する。 | A: 3.1 章, 3.4 章 |
| 3. 実装 | | |
| 3.1 | SIAM の実装をサポートするさまざまなシナリオ | |
| 3.1.1 | ビッグバンアプローチと段階的アプローチのベネフィットとリスクに基づいてこれらのアプローチを選択する。 | A: 4.1 章 |
| 3.1.2 | 承認された SIAM モデルに移行する方法を説明する。 | A: 4.2 章 |
| 3.2 | 組織的なチェンジマネジメント(OCM)の継続 | |
| 3.2.1 | モラルとモチベーションに影響を与える方法を選択する。 | A: 4.3 章 |

| | | | |
|----------------------------------|--|------------------------|--|
| 4. 運営&改善 | | | |
| 4.1 | SIAM エコシステムの運用、保証、改善 | | |
| 4.1.1 | 異なるレベルの構造要素を分析する。 | A: 5.1 章, 5.2 章 | |
| 4.1.2 | イシューに対処するための適切なメカニズムを選定し、プロバイダとインテグレータのパフォーマンスを向上する。 | A: 2.3 章, 5.3 章, 5.5 章 | |
| 4.1.3 | 監査とコンプライアンスのメカニズムを適用する。 | A: 5.4 章 | |
| 5. ステージ全体を通じた SIAM プラクティス | | | |
| 5.1 | SIAM プラクティスの応用 | | |
| 5.1.1 | ディスカバリ&戦略ステージのための全ての SIAM プラクティスを適用する。 | A: 2.8 章 | |
| 5.1.2 | 計画&構築ステージのための全ての SIAM プラクティスを適用する。 | A: 3.5 章 | |
| 5.1.3 | 実装ステージのための全ての SIAM プラクティスを適用する。 | A: 4.4 章 | |
| 5.1.4 | 運営&改善ステージのための全ての SIAM プラクティスを適用する。 | A: 5.7 章 | |
| | | | |

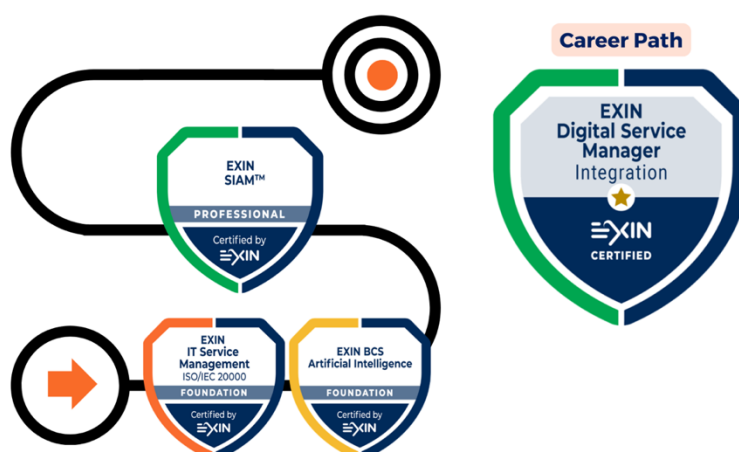
5. キャリアパス

EXIN は、生涯学習の重要性と、多様なスキルを組み合わせることで現代の変化の激しい環境で活躍することの価値を重視しています。EXIN Career Paths を活用することで、受験者は特定の職務に向けた準備を行うとともに、専門家としての成長とキャリアアップを継続的に実現できます。EXIN Career Paths の詳細については、<https://www.exin.com/career-paths/> を参照してください。

EXIN SIAM™ Professional の認定は、以下の EXIN Career Paths の一部です。

EXIN Digital Service Manager Integration

EXIN Digital Service Manager Integration 専門家が、デジタル環境や人工知能（AI）を活用して組織の目標達成を推進するデジタルトランスフォーメーションの取り組みを主導できるようにします。



EXIN Digital Project Manager Integration

EXIN Digital Project Manager Integration 専門家が、デジタルイノベーションを推進するために、アジャイルプロジェクトを効果的に管理し、人工知能（AI）を活用しながら、さまざまなサービス統合環境を適切に扱えるようにします。





Driving Professional Growth

EXIN の連絡先

www.exin.com